

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【公開番号】特開2006-216866(P2006-216866A)

【公開日】平成18年8月17日(2006.8.17)

【年通号数】公開・登録公報2006-032

【出願番号】特願2005-29832(P2005-29832)

【国際特許分類】

H 01 L 21/027 (2006.01)

G 01 B 11/00 (2006.01)

G 03 F 9/00 (2006.01)

【F I】

H 01 L 21/30 5 0 2 H

G 01 B 11/00 C

G 03 F 9/00 H

H 01 L 21/30 5 1 5 G

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月21日(2007.11.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可動子と固定子とを有する駆動部と、

前記駆動部によって移動する移動体の位置を光を用いて計測する計測部と、

前記計測部の光路に温度が調整された気体を供給する給気部と、

前記給気部から供給される気体を排気するための排気部とを備え、

前記排気部は前記固定子に設けられることを特徴とする位置決め装置。

【請求項2】

前記排気部は、排気流路を前記固定子内部に有することを特徴とする請求項1に記載の位置決め装置。

【請求項3】

前記排気流路は、前記固定子の数に応じて設けられることを特徴とする請求項2に記載の位置決め装置。

【請求項4】

前記排気部は、前記駆動部の外部を覆うように設けられていることを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の位置決め装置。

【請求項5】

前記排気部は、前記気体の排気位置に応じて排気量が異なることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の位置決め装置。

【請求項6】

前記計測部はレーザー光を用いて前記移動体の位置を計測することを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載の位置決め装置。

【請求項7】

前記排気流路を複数有し、

前記複数の排気流路のうち一つの排気流路断面積が、他の前記排気流路のうち一つの排

気流路断面積と異なることを特徴とする請求項 2 に記載の位置決め装置。

【請求項 8】

前記駆動部は、前記可動子を永久磁石、前記固定子をコイルとするリニアモータであることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の位置決め装置。

【請求項 9】

原版のパターンを基板に露光する露光装置であって、

請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項に記載の位置決め装置を備え、

前記移動体により原版と前記基板とを相対的に位置決めして露光することを特徴とする露光装置。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の露光装置を用いて基板を露光する工程と、

前記基板を現像する工程とを備えることを特徴とするデバイス製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決し、目的を達成するために、本発明の一態様は、可動子と固定子とを有する駆動部と、前記駆動部によって移動する移動体の位置を光を用いて計測する計測部と、前記計測部の光路に温度が調整された気体を供給する給気部と、前記給気部から供給される気体を排気するための排気部とを備え、前記排気部は前記固定子に設けられる。